

2021年 山口県 冬期野外活動 指導者養成講習会 開催要項

1 趣 旨

冬の自然とのかかわりの中で野外活動の特性についての理解を深め、その知識や技能を習得することで、参加者の求める活動要求に応えることのできる指導技術を身につける。

2 主 催 山口県キャンプ協会 山口県スキー連盟

3 後 援 山口県 (一社) 山口県レクリエーション協会

4 期 日 A日程：令和3年1月3日(日)～5日(火) 2泊3日
B日程：3日(日)～4日(月)(1泊2日) スキーツアーだけの参加も可能です

5 会 場 鳥取県 だいせん初任リゾートスキー場
宿泊先 〒689-3318
鳥取県西伯郡大山町大山寺 「やまびこ荘」
TEL0859(52)2725

6 参加対象 小・中・高等学校教職員、市町職員、スポーツ推進委員、
スキー・キャンプ他、各種団体指導者(スキー初心者参加可)

7 参加定員 20人(メ切り以前でも定員になり次第締め切ります。)

8 参加申込 (1) 申込様式：別記申込書
(2) 申込期限：令和2年12月12日(土)
(3) 申込先：
郵送：〒759-4101 長門市東深川1892
冬期野活講習会担当 山下茂生 宛
メールでの申込：yamashigekst@gmail.com

9 参加経費 A日程：30,000円、B日程：1泊2日(スキーツアーまで)：20,000円
・(宿泊費、食事代、保険料、雪上炊飯材料、ツアー用具、その他雑費)
・昼食、リフト代は各自負担
※経費は現地で徴収します。

10 携行品 筆記用具、スキー用具、防寒着、着替え、洗面用具、サブザック(ツアー用)
(歩くスキーは、本部で用意します。)

11 参加上の注意

- (1) 個人装備や現地集合場所等、詳細については、申込受付後、別途ご案内します。
- (2) やむを得ず、参加できなくなった場合は、必ず下記問い合わせ先に連絡してください。

12 問い合わせ先

○冬期野活講習会担当 山下茂生
TEL 090-3748-8863 メール：yamashigekst@gmail.com

13 その他

- 本講習会では、日本キャンプ協会公認「キャンプ・インストラクター」の資格取得のための単位を取得することができます。(詳細は、上記担当者にお問い合わせください。)

《A日程》

3日	4日	5日
<p><現地集合> 13:00 開講式 13:30 スキー実習 (歩くスキー) 17:00 入浴・夕食 19:00 ミーティング 「仲間づくり」 講義 ツアー説明 21:00 自由交歓 22:00 就寝</p>	<p>9:00 スキーツアー ～歩くスキーで (元谷往復) 雪洞づくり 雪上炊飯 自然観察 17:00 入浴・夕食 19:00 ミーティング 野外活動の 最新情報 21:00 ラストナイト の集い 22:00 就寝</p>	<p>9:00 スキー実習 (アルペン) 12:00 昼食 13:00 閉講式 <解散> ※アルペン フリー滑走可</p>

《B日程》上記の、3日13:00～4日17:00までの日程

【講習会の概要説明】

アルペンスキー

純白のゲレンデを、雪煙を上げながら一気に滑り降りる爽快感は一度経験したら病み付きになってしまいます。海がみえるスキー場「大山」で、冬のスポーツの王様「アルペンスキー」を思いっきり楽しみましょう。初めての方も、全日本スキー連盟公認のインストラクターが丁寧に講習するので大丈夫です。また、きちんとした指導理念に基づいての指導は、学校のスキー教室などにも生かれます。



歩くスキー

冬のスキーは、ゲレンデスキーではありません。軽量で、雪上を歩くのに都合が良くできている歩くスキーを履いて、冬の大自然を肌で感じてみましょう。動物の足跡をたどってブナの原生林の中をアニマルトレッキング。自然志向派の人にお勧めのスキーです。初めての方でもすぐになれるようになり、アルペンスキーとは違ったスキーを楽しむことができます。歩くスキーで、冬の自然の森と一体になってみましょう。

スキーツアー

歩くスキーを履いて日帰りのツアーに出かけます。大神山神社の鎮守の森やブナの原生林の中を通り、大山の元谷まで行きます。そこでイグルー（雪洞）をつくり、雪上炊飯をします。雄大な北壁を背景に食べる昼食は最高です。帰りは、なだらかな下りの夏山登山道を滑って下ります。宿に着いたらあったかいお風呂がまっています。



人間関係づくり（コミュニケーション能力の育成）

人との付き合い方を知らない子供達、学級崩壊やいじめでゆれる学級。最近、指導者に強く求められている資質として「カウンセリング」や「グループワーク」の能力があります。本講習会の講師は、各種実技指導はもちろん、これらの心理面についても研修しています。この講習会全体を通して、人間関係づくりについて考えてみませんか。